

研究：早稲田大学におけるアクティブラーニングの展開 —「対話型，問題発見・解決型教育の手引き」の開発—

2016/07 報告者 助手 石井雄隆

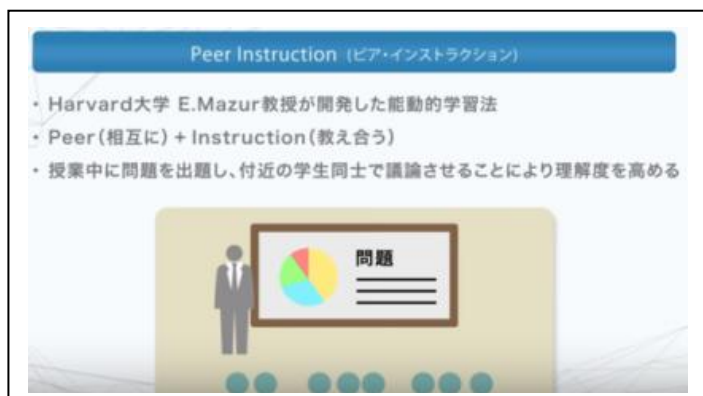
早稲田大学では、Waseda Vision 150 実現のために、「入試戦略」「教学戦略」「展開戦略」「経営戦略」の4つの戦略の枠組みの中で、13の核心戦略を挙げています。その中の教学戦略の一つとして、「対話型，問題発見・解決型教育への移行」を掲げています。対話型，問題発見・解決型教育の定義は下記のとおりです。

授業の形態・クラスサイズなどに応じて、教員と学生、学生と学生同士が意見を交わして授業内容の理解を深める対話型、また、学問の活用を通して、社会における複雑な問題を発見し、分析する能力を養う問題発見・解決型教育

この教育を実現するために、新しく開発されたのが「対話型，問題発見・解決型教育の手引き」(<http://cnt.waseda.jp/fcontents/open/X1/2016/pdf/eb ook/>)です。本手引きにおいては、グループワーク、ディベート、フィールドワーク、プレゼンテーションなどのさまざまな手法を紹介しています。

手引きの中には、「Active Learning Tips 動画」も埋め込まれています。下記は、クリッカーを活用したピア・インストラクションに関する動画の例です。今後は、学内の教育実践事例なども手引きの中に拡充していく予定です。

Active Learning Tips 動画の例



本手引きの特徴として、アイスブレイク，導入，展開，リフレクション，評価の категорияで授業フェーズごとにアクティブラーニング手法を紹介していることが挙げられます。

授業のフェーズごとのアクティブラーニング手法

授業のフェーズ	活動名
アイスブレイク	三つ選んで自己紹介 アタック 25
導入	シンク・ペア・シェア ピア・インストラクション ラウンドロビン バズ・グループ
展開	ペーパー・セミナー スリー・ステップ・インタビュー ピア・エディティング コラボラティブ・ライティング マイクロディベート クリティカル・ディベート センド・ア・プロブレム ケーススタディ ストラクチャード・プロブレム・ソルビング グループ・インベスティゲーション
リフレクション	ミニッツペーパー レビューシート
評価	ループリック評価 ポートフォリオ評価 相互評価

手引きについてコメントやご提案などがあれば [yutakaishii@aoni.waseda.jp](mailto:yutakaishii@aoni.waseda.jp) までご連絡いただけましたら幸いです。